

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0171500490		
法人名	社会福祉法人 七飯町社会福祉協議会		
事業所名	七飯町グループホームひだまりの家		
所在地	北海道亀田郡七飯町字中野210-2		
自己評価作成日	平成25年10月31日	評価結果市町村受理日	平成25年12月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域との交流を大切に、いろいろな状況に対応できるようにしています。各種ボランティアの受入れや、近隣の農家から新鮮な野菜の差し入れがあったり、子ども会との交流をしています。また様々な行事を通して、季節感を感じるようにしています。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kajigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2012_022_kani%u%ae&JigvosyoCd=0171500499-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット
所在地	札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401号室
訪問調査日	平成25年11月19日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当事業所は田園地帯に位置し、近隣農家からの野菜の差し入れがあり、隣に建つ系列の事業所の温泉も利用できるなど、立地条件はとても恵まれている。運営母体が七飯町社会福祉協議会であり、行政との連携もよく、災害時には隣接の有料老人ホーム好日園との協力体制も取られている。手厚い職員体制を整え、利用者の尊厳を見守りつつ、接遇や身体拘束についての研修会を開き、事業所独自の自己評価シートを使い、スキルアップを目指している。年2回の家族会(夏祭り、クリスマス会)の他にたくさんの行事が企画され、利用者はとても楽しみにしている。また、町内の文化祭には利用者の作品を出品したり、秋祭りに参加したり、ボランティアが来訪してくれたり、地域との交流もとても盛んである。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果		項目	取り組みの成果	
	↓該当するものに○印	↓該当するものに○印		↓該当するものに○印	↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	日常において、理念を掲示し職員間で共有して実践につなげています	地域密着型サービスの理念として確立し、職員会議や、ネームプレートの裏に理念を記載するなどして、常に意識し、実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の文化祭・夏祭り等の行事への参加や町内会・近隣農家の方々と交流を行っています	町内会のお祭りや、町主催の文化祭に利用者の作品を発表するなど交流は深く、ボランティアの受け入れもあり、近隣農家からの野菜の差し入れも多々ある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	交流の機会にお話をさせていただいています		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的開催し、利用者の方々の日常の様子やサービスの現況等について伝えています	行政、地域住民、家族など多数の参加を得て定期的開催されている。夜間想定避難訓練の報告など、活発に話し合わせサービス向上に活かされている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	役場より、運営推進会議に出席いただき運営状況等を伝達したり、利用者の連絡・報告を密に連携を取っています	運営推進会議への出席や、申請書類、空き状況、外部評価の報告等、運営母体が社会福祉協議会の為、連絡を密に取り協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	利用者の人権遵守を基本とし、安全面上止むを得ず対応する場合、ご家族に説明し同意を得て行っています(ベッド柵使用)	内部職員研修や、外部研修に参加し、利用者の人権遵守を基本として、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修参加や報告にて学び、職員間で意識注意し合い防止に努めています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	必要に応じて、関係者と話し合い支援体制を取っています		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前に利用者やご家族に理解・納得を得る様十分な説明を行っています		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日常の面会時や家族会、推進会議において、また「御意見箱」の設置にて、御意見・要望を反映できるようにしています	運営推進会議、年2回の家族会(夏祭り、クリスマス会)や、面会時に意見や要望を聴き、反映できるようにしている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	意見交換の場として、月1回のユニット会議、または随時ミーティングを行い対応しています	月1回のユニット会議のほか、自己評価シートを使い年2回職員の要望を聞く機会を設け、今年度はインフルエンザワクチンの無料接種に反映されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の増員にて休憩時間や有休を取れるよう就業関係を整えています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内外の研修の機会を設け、職員の育成を進めています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	認知症介護実践者研修等の受入れや各種研修への参加の際、交流を図っています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めています	本人のニーズを把握する為、日常の細やかな観察・見守りを行うとともに、家族とも話し合い、本人が安心して暮らせるように努めています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族等のニーズを把握するよう努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族等がその時の状況に応じて、必要としているサービスを見極め、他のサービス利用も含めた対応に心掛けています		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共同生活者という視点のもとに、支え合う関係を築く様努めています		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員・家族が相互に相談し、本人を支えていけるよう、常に情報の共有を行っています		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族・知人の面会、自宅や住み慣れた地域への外出を推進したり、季節の絵手紙を作成し、馴染みの人に送り、交流の支援を行っています	家族や知人の面会があり、日用品購入の為馴染みのスーパーに出かけたり、利用者の知人が書道の先生として来訪してくれている。絵手紙を作成し知人に送るなど継続の支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	状況に応じて、共有の話題等を提供することで利用者同士の係わり合いが深まるように支援しています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	近況報告や相談に応じる等、関係性を大切にしています			
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で、思いや意向を把握し、本人本位の介護を行うよう努めています	意思表示の困難な利用者に対しては、日々のかかわりの中で表情の変化で読み取るなど、本人の意向を把握するように支援している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族やケアマネージャー等から、情報収集し把握に努めています			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々において心身の状態を観察し、申し送りにより、把握に努めています			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の関わりの中で思いや要望を聞き、ユニット会議で話し合い、介護計画を作成しています	月1回のユニット会議や、日々のかかわりの中で本人と家族の要望を聞き、それを反映させ、職員の意見を取り入れながら介護計画を作成している。	介護計画と個別記録が連動するよう、職員で検討することを期待する。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	御本人の言動や実践したケアについては、ありのままの言葉で、個別記録に記入し、職員間で共有化しています			
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ドライブ・デイサービスセンターの温泉利用、受診時の付き添い・送迎等の支援を行っています			
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	定期的に地域ボランティアが来所し、趣味活動において協力をいただいています			
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からの主治医を受診していただいています	協力医療機関とかかりつけ医が同じ利用者が多く、入居前からの受診支援をしている。緊急の場合は、職員が付き添い、連絡ノートにて、家族、医師、職員間で情報を共有している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の生活の中で、体調変化が見られた場合、すぐに看護職へ連絡し対応しています			
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は定期的に様子を見に行き、医師の面談時は家族の了解を得て同席させていただく等、関係作りを密に行っています			
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用者の状態に応じて、御家族の意向を伺い話し合いをして以降の方針を共有しています	事業所としての方針を作成し、家族と話し合い終末期に向けた支援について共有している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	講習を受講し、急変時の対応を確認しています。また、ヒヤリハット報告書を通して、ユニット会議で対応策を話し合い備えています			
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	職員・地域協力者との連絡網にて、24時間対応できる体制を整えており、避難連絡も行っています	年2回、夜間想定も含み、消防署、地域、近隣の施設と一緒に、避難訓練を行っている。備蓄も用意されている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々のプライバシーに配慮し、その人に合った声かけや支援を行っています	入室時の声掛け、排せつ、着替えなど、プライバシーや尊厳を損ねないように一人ひとりに合った対応をしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	御本人でなるべく決めて頂けるように声がけをし、働きかけています			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	可能な限り、個々のペースを大切に希望に沿うよう心掛けています			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その方の希望とTPOに合わせて、着衣できる様、支援しています			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節や行事に合わせて、一緒に下ごしらえ等の準備を行い、片付けも手伝っていただいています	季節行事やドライブなどで、お弁当や回転寿司を利用したり、スーパーでの食材の買い出しや、おやつ作りなど利用者と一緒に食事を楽しみ、職員も献立や盛り付けに工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人の状態に応じ、声かけや支援を行っています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行っており、必要な方には介助をしています		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄パターンに合わせ、声かけや時間誘導を行っています	個人個人の排泄パターンに合わせ、声掛けをし誘導している。昼間は布パンツを使用し、夜間のみオムツを利用するなど自立に向けた支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分・繊維質の物を多く摂っていただくようにしており、無理のない運動を行うよう働きかけています		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	希望やタイミング、体調に合わせて入浴をしていただいています	利用者の希望や体調に合わせて入浴支援をし、月1回程度隣接の系列事業所の温泉を利用し、入浴を楽しめるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	状況に応じて、適度に休息できる時間を設けています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	見守りや介助にて、服薬を支援しており、病状の変化・確認に努めています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	出来る限り、個々の希望に沿うよう支援をしています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	好天時、ドライブや買い物等の外出の機会を作り、家族とも協力しながら支援をしています	本人の希望で自宅訪問したり、スーパーでの日常品の買い物支援。好天時ドライブに出かけたり、遠出出来ない利用者には、外気浴に付き添うなど、本人の希望を把握し支援に努めている。また菜園を作り収穫を楽しんでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣いは、施設預かりですが、必要に応じて支援をしています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご本人の希望に応じ支援をしています		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花等を飾り、気温や湿度に配慮しています	居間には利用者の、習字の作品が貼られ、職員が作った季節に合った切り絵が飾られ居心地の良い空間がつけられている。傾斜のある長い廊下はリハビリに役立ち、金魚や生花が生活に潤いを与えている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	座る場所において、配慮しています		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人の使い慣れた物を活かして居心地よく過ごしていただけるようにしています	居室には、仏壇や馴染みの品などが持ち込まれ、本人が気持ちよく過ごせるように工夫されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各所に手すりを設置し、安全面に配慮しています		